

【広島市消費者物価指数】

1 平成 26 年 4 月の動向

- 広島市総合指数（102.4）は前月比で 2 か月連続の上昇。前年同月比は 10 か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（102.2）は前月比で 2 か月連続の上昇。前年同月比は 10 か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（100.2）は 2 か月連続の上昇。前年同月比は 7 か月連続の上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	102.4	2.1	3.1
生鮮食品を除く総合指数	102.2	2.1	2.8
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	100.2	2.0	2.0

3 前月からの動き

～食料、交通・通信及び教養娯楽は上昇、教育は下落。～

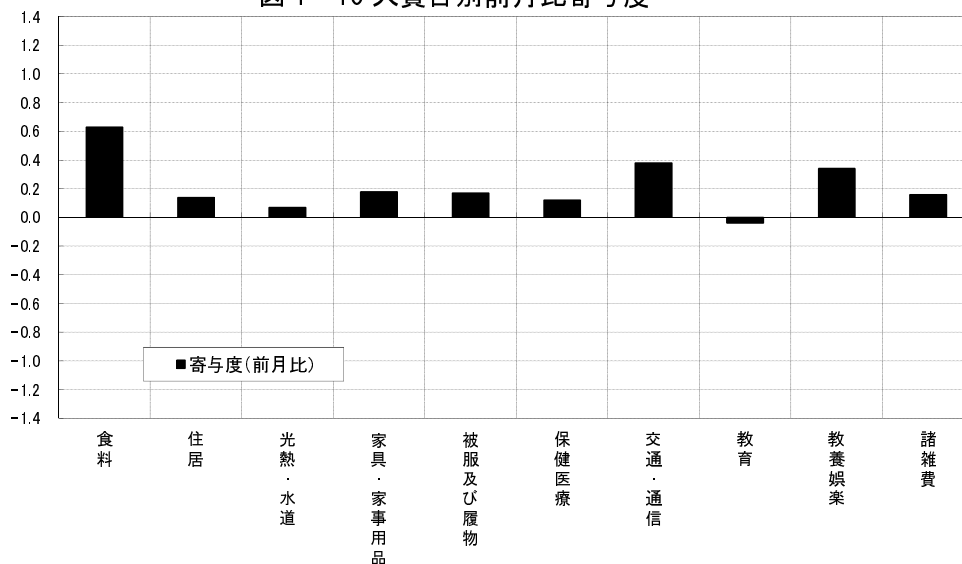
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	102.4	104.1	99.0	110.4	98.8	104.8	100.4	104.6	97.6	95.9	109.1
前月比 (%)	2.1	2.5	0.7	0.8	4.8	3.8	2.6	2.7	▲ 1.2	3.1	2.4
寄与度	2.1	0.63	0.14	0.07	0.18	0.17	0.12	0.38	▲ 0.04	0.34	0.16

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 食 料：外 食（前月比 4.0%，寄与度 0.20）等
- 交通・通信：自動車等関係費（前月比 2.1%，寄与度 0.16）等
- 教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 3.1%，寄与度 0.18）等
- 教 育：補 習 教 育（前月比 ▲12.4%，寄与度 ▲0.07）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
外食 (焼肉 等)	4.0%	補習教育 (補習教育[小学校] 等)	▲12.4%
教養娯楽サービス (宿泊料 等)	3.1%	果物 (みかん 等)	▲2.4%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	2.1%	洋服 (婦人スーツ[春夏物, 普通品] 等)	▲1.2%
シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	14.6%		
交通 (高速自動車国道料金 等)	5.7%		

4 前年同月からの動き

～食料, 教養娯楽及び交通・通信は上昇, 教育は下落。～

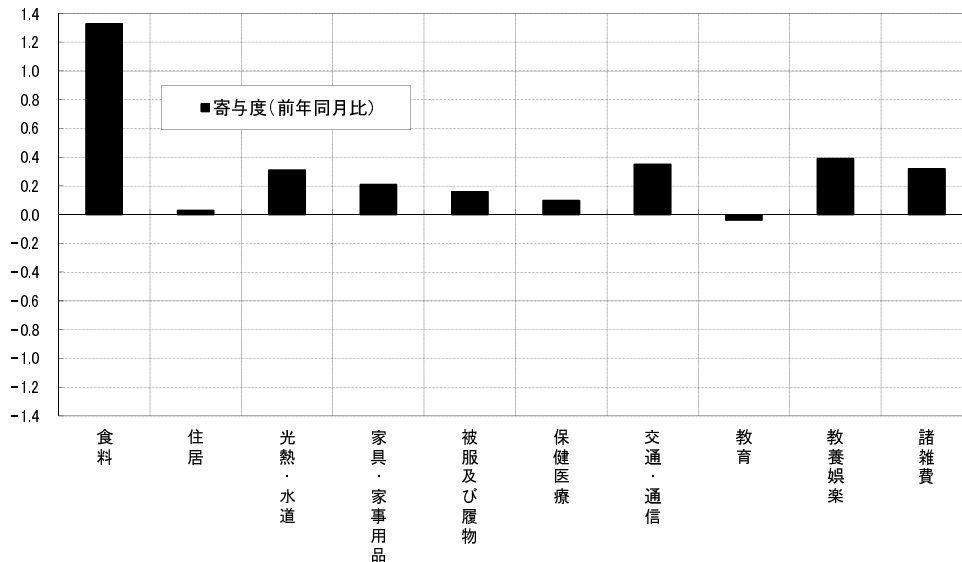
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	3.1	5.3	0.1	3.9	5.5	3.4	2.1	2.5	▲1.2	3.6	4.9
寄与度	3.1	1.33	0.03	0.31	0.21	0.16	0.10	0.35	▲0.04	0.39	0.32

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

食 料 : 外 食 (前年同月比 5.5%, 寄与度 0.27) 等
 教 養 娯 楽 : 教養娯楽サービス (前年同月比 3.9%, 寄与度 0.23) 等
 交 通 ・ 通 信 : 交 通 (前年同月比 6.6%, 寄与度 0.17) 等
 教 育 : 補 習 教 育 (前年同月比 ▲12.4%, 寄与度 ▲0.07) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
外食 (焼肉 等)	5.5%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.8%
野菜・海藻 (たまねぎ 等)	9.3%	補習教育 (補習教育[小学校] 等)	▲12.4%
魚介類 (さけ 等)	10.3%	室内装備品 (照明器具 等)	▲7.0%
教養娯楽サービス (宿泊料 等)	3.9%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲1.1%
電気代 (電気代 等)	4.8%	下着類 (男子パジャマ 等)	▲2.5%